

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

【日本赤十字社への申請】

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
1		理学部臨床検査技師養成コース病院実習	岩下 洋一	東邦大学医療センター佐倉病院 輸血部	臨床検査技師	①	①	赤血球4バッグ、血漿1バッグ PF624mL
2		教育目的の検査実習	藤田 禎三	福島県立総合衛生学院	学院長	①	①②	赤血球3バッグ、血漿2バッグ、検査残余血清44本
3		臨床検査技師養成教育における輸血検査実習	三島 由祐子	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科	学内講師	①	①	赤血球8バッグ、血漿8バッグ
4		福岡大学医学部第4学年における血液型判定実習	久保 真一	福岡大学医学部 法医学教室	教授	①	①	赤血球7バッグ、血漿1バッグ PF673mL
5		検査用の精度管理用コントロールの製造	新井 秀夫	オリエンタル酵母工業(株)	常務取締役 バイオ事業本部長	②	②	検査残余血清(分注)1,730L
6		ハンセン病及び結核発症予防のためのBCGワクチンの改良	前田 百美	国立感染症研究所	室長	②	②	全血22,104mL
7		血漿セレン含有タンパク質セレノプロテインPに関する研究	斎藤 芳郎	東北大学大学院 薬学研究科	教授	②	①	血漿53バッグ、PF5,130mL
8		茨城県臨床検査技師会による所属施設への輸血検査業務支援	岡野 正道	(公社)茨城県臨床検査技師会	生命倫理検査部門 輸血・移植検査分野分野長	①	①	赤血球7バッグ、血漿6バッグ PF217mL
9		富山県臨床検査精度管理協議会	北島 勲	富山県精度管理協議会	医師	①	①	赤血球3バッグ、血漿1バッグ PF231mL
10		愛知県臨床検査精度管理調査(輸血検査部門)	中根 生弥	公益社団法人 愛知県臨床衛生検査技師会	会長	①	①	赤血球2バッグ、PF695mL
11		愛知県臨床衛生検査技師会 輸血検査研究班 基礎講座	中根 生弥	公益社団法人 愛知県臨床衛生検査技師会	会長	①	①	赤血球3バッグ、血漿1バッグ、PF687mL
12		輸血検査の実習	畠山 真奈美	北海道医学技術専門学校	教員	①	①	赤血球12バッグ、PF897mL
13		認定輸血検査技師協議会認定試験	加藤 栄史	認定輸血検査技師協議会	試験委員長	①	①	赤血球7バッグ、血漿10バッグ
14		医学部学生の血液型判定の実習	横須賀 忠	東京医科大学 免疫学分野	主任教授	①	①	赤血球4バッグ、血漿4バッグ
15		国家検定、取去試験、および規格試験の実施	松岡 佐保子	国立感染症研究所	厚生労働技官	①②	②	検査残余全血52本
16		臨床免疫学実習における輸血検査の指導	白土 佳子	埼玉県立大学	准教授	①	①	赤血球5バッグ、血漿3バッグ、PF246mL
17		抗血小板抗体検出試薬製造に必要な有効期限切血小板製剤について	吉村 成明	ベックマン・コールター・三島株式会社 テクニカルオペレーショングループ	製造管理者	②	①	血小板159バッグ
18		マラリア原虫のガメトサイト形成機構の解明	筏井 宏実	北里大学獣医学部	准教授	②	①	赤血球12バッグ
19		輸血検査部門の精度管理	池森 淳	一般社団法人 徳島県臨床検査技師会	精度管理委員会輸血検査部門責任者	①	①	赤血球4バッグ、血漿2バッグ
20		輸血学実習授業のための譲渡血	高山 成伸	大東文化大学スポーツ・健康科学部 健康科学科	教授	①	①	赤血球11バッグ、血漿6バッグ
21		埼玉県医師会臨床検査精度管理事業	金井 忠男	埼玉県医師会	会長	①	①	赤血球2バッグ、血漿3バッグ、PF950mL
22		抗マラリア原虫薬の開発	渡邊 信元	国立研究開発法人理化学研究所 環境資源科学研究センター	ユニットリーダー	②	①	赤血球24バッグ
23		卒前卒後医学教育(輸血検査実習)	田野崎 隆二	慶應義塾大学病院 輸血・細胞療法センター	教授	①	①	赤血球28バッグ、血漿2バッグ
24		マラリア原虫の増殖機構及び宿主-マラリア原虫相互作用の解明	堀井 俊宏	大阪大学微生物病研究所	教授	②	①	赤血球50バッグ、血漿21バッグ、PF6,681mL
25		学部学生の免疫検査学実習	小松 博義	文京学院大学保健医療技術学部	教授	①	①	赤血球12バッグ、血漿12バッグ
26		マラリア原虫感染後の赤血球内部に構築される膜に対する機能解析	早川 枝李	自治医科大学医学部 医動物学部門	助教	②	①	赤血球16バッグ、血漿2バッグ、PF249mL
27		ヒト赤血球膜蛋白質バンド3の構造-機能相関研究	隈 博幸	長崎国際大学薬学部	教授	②	①	赤血球30バッグ、血小板4バッグ
28		栃木県臨床検査精度管理調査	長島 徹	一般社団法人 栃木県医師会	常任理事	①	①	赤血球2バッグ、PF480mL
29		輸血・移植検査学実習	山本 隆敏	熊本保健科学大学保健科学部 医学検査学科	講師	①	①	赤血球5バッグ、血漿4バッグ、PF263mL、血小板4バッグ
30		アミノ酸制御による新規のマラリア治療・予防法の開発研究	嘉藤 洋陸	東京慈恵会医科大学 熱帯医学講座	教授	②	①②	赤血球12バッグ、血漿10バッグ、検査残余血清2,400本
31		学生実習(輸血検査学実習)	赤池 雅史	徳島大学医学部	学部長	①	①②	赤血球1バッグ、血漿2バッグ、セグメント160本、検査残余全血45本

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
32		ABO式、Rh式血液型判定の検査実習	南 順子	東京工科大学	講師	①	①	赤血球4バッグ、血漿4バッグ
33		日本輸血・細胞治療学会認定医制度認定試験	面川 進	日本輸血・細胞治療学会	認定医制度審議会長	①	②	検査残余全血230本
34		ABO式血液型の判定	吉田 和彦	山口県警察本部 科学捜査研究所	所長	②	②	検査残余全血144本
35		学生実習(血液型、不規則抗体検査、交差適合試験)	小野寺 利恵	山陽女子短期大学 臨床検査科	准教授	①	①②	赤血球2バッグ、血漿2バッグ、検査残余全血13本
36		学生の輸血検査学実習	山田 久	学校法人明経学園 美萩野臨床医学専門学校	教員	①	①	赤血球1バッグ、PF265mL
37		ゲノム解析を用いたマラリア薬剤耐性の研究	鈴木 穂	東京大学	教授	①②	①	赤血球15バッグ
38		献血血液を用いた医学部での教育研修	高橋 勉	秋田大学医学部附属病院 輸血部	教授 輸血部長	①	①	PF236mL
39		福島県臨床検査技師会 学術部輸血・移植検査部門における教育	渡部 和也	一般社団法人福島県臨床衛生検査技師会	輸血・移植検査部門長	①	①②	赤血球3バッグ、検査残余血清2本
40		生体外における器官培養技術の開発	辻 孝	国立研究開発法人理化学研究所 生命機能科学研究センター 器官誘導研究チーム	チームリーダー	②	①	赤血球38バッグ
41		総コレステロール測定用試薬及びトリグリセリド測定用試薬の性能試験等の際に自家使用する高濃度リポ蛋白質画分試料の調製	川口 博	株式会社 セロテック	研究所 所長代理	②	②	検査残余血清(分注)150L
42		マラリア原虫のゲノム情報に立脚した新規の診断、治療、予防法の開発研究	河津 信一郎	帯広畜産大学 原虫病研究センター	教授	②	①	赤血球9バッグ
43		臨床検査技師会 精度管理	津嶋 里奈	青森県臨床検査技師会	学術班 輸血・移植検査部門 部門長	①	①	赤血球2バッグ、PF777mL
44		石川県臨床衛生検査技師会輸血検査研究班実技研修会	長原 三輝雄	石川県臨床衛生検査技師会	会長	①	①	赤血球3バッグ、PF476mL
45		学生実習(輸血検査)	笠原 聡	新潟医療技術専門学校	准教授	①	①	赤血球6バッグ、血漿4バッグ
46		大分県医師会精度管理調査(輸血検査)	近藤 稔	一般社団法人 大分県医師会	会長	①	①②	赤血球2バッグ、血漿2バッグ、PF1504mL、セグメント510本
47		群馬県臨床検査精度管理調査	竹内 哲也	一般社団法人 群馬県臨床検査技師会	精度保証部精度管理委員会委員長	①	①	赤血球6バッグ、血漿3バッグ、PF249mL
48		岡山県精度管理調査(輸血部門)	木村 泰治	一般社団法人 岡山県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球4バッグ、血漿7バッグ
49		臨床検査精度管理調査	藤原 祝子	一般社団法人 長野県臨床検査技師会	精度管理事業部長	①	①	赤血球2バッグ、PF505mL
50		犯罪鑑識における標準血球等としての利用	木谷 浩	北海道警察本部 刑事部科学捜査研究所	所長	②	②	セグメント360本
51		山口県精度管理調査及び実技講習会	洪田 秀美	一般社団法人 山口県臨床検査技師会	臨床検査技師	①	①	赤血球6バッグ、血漿4バッグ
52		輸血・移植検査学実習(神戸常盤大学保健科学部医療検査学科の学生実習)	井本 しおん	神戸常盤大学保健科学部 医療検査学科	教授	①	①②	赤血球11バッグ、PF1.210 mL、検査残余全血40本
53		輸血検査学実習	小澤 優	京都保健衛生専門学校 臨床検査学科	教務部長	①	①	赤血球6バッグ、PF639mL
54		法医学実務、薬毒物分析センター実務、及び薬毒物分析法確立のため使用する。	岩井 雅枝	愛知医科大学医学部 法医学	助教	②	②	検査残余全血9本
55		臨床検査技師 実技実習(輸血検査)	森田 益子	一般社団法人 広島県臨床検査技師会	会長	①	①②	赤血球2バッグ、血漿4バッグ、セグメント40本、検査残余全血4本
56		岩臨技精度管理事業 輸血・移植部門	高館 潤子	岩手県臨床衛生検査技師会	輸血・移植部門担当	①	①	赤血球2バッグ、血漿1バッグ、PF257mL
57		医学教育用	江頭 弘一	久留米大学病院 臨床検査部	臨床検査技師	①	①	赤血球10バッグ、血漿3バッグ、PF955mL
58		新潟県臨床検査技師会 輸血細胞治療部門 実技講習会	高橋 一哲	新潟県臨床検査技師会	輸血細胞治療部門長	①	②	検査残余全血17本
59		免疫検査学実習	望月 泰男	昭和医療技術専門学校 臨床検査技師科教務課	副校長	①	①	赤血球12バッグ、血漿9バッグ
60		急性リンパ性白血病(ALL)における定量PCRを用いた微小残存病変(MRD)測定法の確立と臨床的意義の検討	眞田 昌	独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター 高度診断研究部	部長	②	②	検査残余全血500本
61		九州・沖縄地区臨床検査精度管理事業	楢原 真二	熊本保健科学大学	教授	①	①	赤血球11バッグ、血漿18バッグ、PF7.682mL
62		血液センターから供給を受けた血液を使用した輸血検査実習	井関 徹	千葉大学医学部附属病院 輸血・細胞療法部	輸血部長	①	①	PF796mL

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
63		新生児・妊婦におけるマスキリングの改善と精度向上	三鶯 雄	札幌市衛生研究所	所長	②	①	赤血球1バッグ
64		公益社団法人 兵庫臨床検査技師会 輸血研究班活動	松谷 卓周	公益社団法人 兵庫臨床検査技師会	輸血研究班長	①	①	赤血球2バッグ、PF490mL
65		静岡県医師会臨床検査精度管理	松島 江理	静岡県医師会臨床検査精度管理委員会	臨床検査技師	①	①	赤血球3バッグ、PF746mL
66		山形県臨床検査精度管理	佐藤 直仁	一般社団法人 山形県臨床検査技師会	臨床検査技師	①	①	赤血球2バッグ、血漿2バッグ
67		医学部臨床実習(輸血検査)	竹内 正明	産業医科大学病院 臨床検査・輸血部	部長	①	②	検査残余全血48本
68		長崎県臨床検査技師会 輸血検査研究班活動	松永 光博	一般社団法人長崎県臨床検査技師会 輸血検査研究班	班長	①	①	赤血球7バッグ、PF247mL
69		京都府臨床検査技師会精度管理調査	原 健介	一般社団法人 京都府臨床検査技師会	輸血検査研究班長	①	①	赤血球2バッグ、血漿1バッグ、PF250mL
70		本学 輸血検査実習	田原 佐知子	昭和大学病院輸血センター	臨床検査技師	①	①	赤血球83バッグ
71		学生実習(臨床免疫学における輸血検査実習)	国分寺 晃	広島国際大学	教授	①	①	赤血球6バッグ、血漿6バッグ
72		二級臨床検査士免疫血清学、緊急臨床検査士認定試験および免疫血清学技術講習会	宮地 勇人	公益社団法人 日本臨床検査同学院	理事長	①	①②	全血309mL、赤血球63バッグ、血漿48バッグ、PF3,644mL、検査残余血清217本
73		佐賀県臨床検査技師会輸血実技研修会	山田 麻里江	(一社)佐賀県臨床検査技師会	輸血研究班 部門長	①	①	赤血球2本、PF257mL
74		多項目実用参照物質の作製と評価	篠原 克幸	特定非営利活動法人 日本臨床検査標準協議会	多項目実用参照物質委員会副委員長	①	②	検査残余血清(分注)30,000mL
75		輸血検査の学生実習	長井 一浩	長崎大学病院 細胞療法部	副部長	①	②	セグメント280本
76		熱帯熱マalaria原虫人工染色体による遺伝子ライブラリー作製とそれをを用いた薬剤耐性遺伝子の同定	岩永 史朗	東京医科歯科大学 歯学部総合研究科	教授	②	①	赤血球52バッグ、血漿54バッグ
77		感染症流行予測調査	梅田 浩史	厚生労働省健康局 結核感染症課	感染症情報管理室長	②	②	検査残余血清1260本、検査残余血清(分注)246mL
78		臨床検査技師養成教育における輸血検査実習	稲福 全人	学校法人湘央学園 湘央医学技術専門学校	校長	①	①	赤血球11バッグ、血漿4バッグ
79		精度改善事業	片川 一之	一般社団法人 神奈川臨床検査技師会	会長	①	①②	全血1,150mL、赤血球1バッグ、血漿1バッグ
80		輸血・血液型検査実習	片川 一之	一般社団法人 神奈川臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球6バッグ
81		マalaria原虫の分子細胞生物学的解析および時空間的動態解析	金子 修	長崎大学熱帯医学研究所	教授	②	①	赤血球46バッグ
82		学生教育における血液型実習	塚 正彦	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科	教授	①	②	検査残余全血15本
83		秋田県臨床検査技師会 輸血細胞治療部門 実技研修会	加藤 亜有子	秋田県臨床検査技師会	輸血細胞治療部門長	①	①	赤血球1バッグ
84		秋田県臨床検査技師会 輸血細胞治療部門 精度管理	加藤 亜有子	秋田県臨床検査技師会	輸血細胞治療部門長	①	①	赤血球5バッグ
85		輸血検査実技研修会	亀山 拓哉	(一社)静岡県臨床衛生検査技師会	臨床検査技師	①	①	赤血球2バッグ、PF500mL
86		輸血教育学	杉山 芳樹	東京医学技術専門学校	学校長	①	①	赤血球6バッグ
87		(一社)鳥根県臨床検査技師会 精度管理調査 輸血検査部門	三島 清司	(一社)鳥根県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球2バッグ、血漿3バッグ
88		佐賀県医師会臨床検査精度管理調査	志田 正典	公益財団法人佐賀県健康づくり財団	専務理事(臨床検査担当理事)	①	①	赤血球5バッグ、PF710mL
89		滋賀県臨床検査技師会精度管理事業(輸血部会)	山下 朋子	(公社)滋賀県臨床検査技師会	滋賀県臨床検査技師会精度管理委員輸血部会代表	①	①	赤血球4バッグ、血漿1バッグ、PF688mL
90		広島県臨床検査精度管理調査	平松 恵一	広島県医師会	会長	①	①	赤血球2バッグ、血漿6バッグ
91		精度管理調査用試料として	浅野 敦	一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球2バッグ、PF448mL
92		滋賀県臨床検査技師会 輸血細胞治療部門 実技研修会	吉田 正明	(公社)滋賀県臨床検査技師会 輸血細胞治療部門	臨床検査技師	①	①	赤血球4バッグ、PF236mL
93		輸血・移植免疫学実習	笹岡 悠一	北里大学保健衛生専門学校	専任教員	①	①	赤血球5バッグ、血漿7バッグ、PF236mL

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
94		千葉県臨床検査技師会輸血検査精度管理	中山 茂	一般社団法人 千葉県臨床検査技師会	会長	①	①	血漿1バッグ、PF293mL
95		マラリアワクチンの研究	坪井 敬文	愛媛大学プロテオサイエンスセンター	教授	②	①	赤血球22バッグ、血漿5バッグ、PF2931mL
96		マラリア原虫の赤血球寄生分子機構の研究	石野 智子	愛媛大学プロテオサイエンスセンター	准教授	②	①	赤血球13バッグ、血漿1バッグ、PF1,167mL
97		学生実習(輸血検査)	藤井 聡	旭川医科大学病院 臨床検査・輸血部	部長	①	①	赤血球7バッグ、血漿1バッグ、PF427mL、血漿(分注)200mL
98		輸血用血液の安全性確保のための研究	岡崎 仁	東京大学医学部附属病院 輸血部	教授	①	①	赤血球12バッグ
99		福島県臨床検査技師会 精度管理事業	田村 功	福島県臨床検査技師会	精度管理事業部 精度管理委員長	①	①	赤血球2バッグ、血漿2バッグ
100		人工赤血球(赤血球代替物)の開発	小松 晃之	中央大学理工学部	教授	①②	①	赤血球4バッグ
101		医療費適正化効果のある特定健診・特定保健指導の臨床検査に関する効果的エビデンスの提供を保障する精度管理調査試料の作製と活用	宮島 喜文	一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会	代表理事会長	①	②	検査残余血清(分注)60,000mL
102		マラリア原虫の <i>in vitro</i> 培養系を用いた薬剤耐性研究	杉下 智彦	東京女子医科大学	教授	②	①	血漿8バッグ
103		医療機器の評価	二川 敬文	株式会社 常光	医療機器開発部長	②	②	検査残余全血30本、検査残余血清30本
104		学生における輸血検査教育・実技講習	池田 和彦	福島県立医科大学	教授	①	①	赤血球43バッグ
105		マラリアのワクチン・薬剤開発に関する研究	狩野 繁之	国立国際医療研究センター研究所	熱帯医学・マラリア研究部長	②	①②	全血11,388mL、赤血球14バッグ
106		初期臨床研修医 輸血検査実習	鷹野 壽代	雪の聖母会 聖マリア病院	中央臨床検査センター長	①	①	赤血球3バッグ、PF709mL
107		培養熱帯熱マラリア原虫を用いた薬剤標的分子の探索研究	金 惠淑	岡山大学	准教授	②	①	赤血球21バッグ、PF224mL
108		マラリア原虫のオルガネラの解析	野崎 智義	国立大学法人東京大学大学院 医学系研究科生物医化学教室	教授	②	①	赤血球18バッグ、血漿11バッグ、PF234mL
109		新生児マスキリーニングの精度管理	但馬 剛	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター研究所マスキリーニング研究室	室長	②	②	全血812mL
110		輸血実技講習会	清川 知子	公益社団法人大阪府臨床検査技師会 学術部輸血検査部門	世話人責任者	①	①②	赤血球4バッグ、PF438mL、検査残余全血8本
111		マラリア原虫ミトコンドリアDNA複製機構の解明	松下 正	名古屋大学医学部附属病院 輸血部	教授	②	①	赤血球26バッグ
112		東京都臨床検査技師会 輸血レベルの向上を目指した教育的使用①実技講習会 ②標準化事業精度管理調査および発表講習会	原田 典明	公益社団法人 東京都臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球5バッグ、血漿3バッグ
113		輸血検査実習	竹下 明裕	浜松医科大学附属病院	病院教授	①	①	赤血球(分注)7,140mL、血漿(分注)6,120mL
114		学生実習(輸血検査学、臨床検査体験演習など)	一原 直人	純真学園大学保健医療学部 検査科学科	准教授	①	①	赤血球10バッグ、PF982mL
115		第2学年 輸血・移植検査学実習	横尾 智子	新渡戸文化短期大学 臨床検査学科	准教授	①	①	赤血球28バッグ、血漿18バッグ
116		宮城県臨床検査技師会 輸血検査部門 実技研修会	岩橋 隆之	宮城県臨床検査技師会	輸血検査部門長	①	②	検査残余血清92本
117		宮城県臨床検査技師会 精度管理調査	遠藤 一弥	宮城県臨床検査技師会	輸血検査部門員	①	①	赤血球2バッグ、血漿5バッグ、PF302mL
118		熱帯熱マラリア原虫の赤血球侵入機構および細胞内物質輸送機構の解析	伊藤 大輔	鳥取大学医学部	助教	②	①	赤血球24バッグ、血漿1バッグ、PF232mL
119		熊本県における臨床検査精度管理調査の実施および、輸血検査技術講習会の実技指導	田中 信次	一般社団法人 熊本県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球3バッグ、PF692mL
120		体外診断用医薬品製造販売承認前試験に用いる国内献血由来血清・血漿パネルの整備	浜口 功	国立感染症研究所	血液・安全性研究部長(体外診断薬委員会委員長)	②	①	PF2,608mL、血漿(分注)3,850mL
121		マラリア原虫生殖母体周縁のコイル状構造:未知の細胞骨格の可能性	竹尾 暁	杏林大学医学部 感染症学講座 寄生虫学部門	准教授	②	①	赤血球10バッグ
122		石川県医師会臨床検査精度管理調査	安田 健二	石川県医師会	医師	①	①	赤血球4バッグ、血漿1バッグ、PF720mL
123		臨床化学検査の外部精度管理調査における最適な調査試料の作製と評価	篠原 克幸	一般社団法人 福岡県臨床衛生検査技師会	検査値標準化委員会委員	①	②	検査残余血清(分注)45,000mL
124		学生実習(輸血検査)	松良 尚子	大阪医療技術学園専門学校 臨床検査技師科	学科長	①	①②	赤血球4バッグ、血漿1バッグ、PF468mL、検査残余全血8本

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
125		備蓄・緊急投与が可能な人工赤血球製剤の実用化を目指す研究	酒井 宏水	奈良県立医科大学	教授	①	①	赤血球39バッグ
126		免疫ヒト化マウスの作成と応用(献血利用)	竹原 徹郎	大阪大学大学院 医学系研究科	教授	②	②	全血595mL
127		佐賀大学医学部附属病院検査部内の実技講習会	山田 麻里江	佐賀大学医学部附属病院 検査部	主任	①	①	赤血球4バッグ、血漿2バッグ、PF503mL
128		輸血研修会試料として使用	手登根 稔	一般社団法人 沖縄県臨床検査技師会	会長(臨床検査技師)	①	①	PF226mL
129		輸血学実習授業のための譲渡血	山田 武司	愛媛県立医療技術大学保健科学部 臨床検査学科	教授	①	①	赤血球5バッグ、血漿5バッグ
130		臨床検査精度管理調査	茂松 茂人	一般社団法人 大阪府医師会	会長	①	①	赤血球9バッグ、血漿6バッグ、PF1,371mL
131		学生実習用	安倍 正博	徳島大学病院 輸血・細胞治療部	部長(准教授)	①	①②	赤血球8バッグ、血漿8バッグ、セグメント60本
132		埼玉県臨床検査技師会 輸血検査実技研修会	神山 清志	公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球5バッグ、血漿3バッグ
133		免疫検査学実習における輸血関連検査	太田 悦朗	北里大学医療衛生学部	講師	①	①②	全血1,557mL、赤血球11バッグ
134		臨床検査技師育成課程における輸血検査実習	川村 宏樹	新潟医療福祉大学医療技術学部 臨床技術学科	准教授	①	①	赤血球7バッグ、血漿2バッグ、PF515mL
135		検査試薬に対する非特異反応等回避への使用	菅 亮彦	株式会社カイノス	研究所 所長	②	②	検査残余血漿300本、検査残余血清2,400本
136		脳梗塞再生治療に用いる骨髄幹細胞培養に使用する血小板溶解物の作成	寶金 清博	北海道大学病院	教授	②	①	血小板18バッグ
137		臨床検査実習	長谷川 真紀子	昭和大学富士吉田教育部	教授	①	①	赤血球8バッグ
138		感染症検査試薬の新規開発および改良検討	金子 敦	富士レバイオ株式会社	試薬改良部長	①②	②	検査残余血清9,050本
139		歯科臨床検査法における血液成分検査・血液型検査	星野 郁子	三重県立公衆衛生学院	学院長	①	②	検査残余全血4本
140		ヒト末梢血細胞を用いた抗酸菌症の基礎研究	西村 知泰	慶應義塾大学保健管理センター	専任講師	②	②	全血4,768mL
141		輸血・移植検査学実習	畑中 徳子	天理医療大学医療学部 臨床検査学科	准教授	①	①	赤血球3バッグ、血漿3バッグ
142		宮城県臨床検査技師会 精度管理事業	幡磨 晋太郎	宮城県臨床検査技師会	精度管理部門員	①	①	赤血球2バッグ、血漿1バッグ
143		マラリア原虫のライフサイクル分子基盤解明	美田 敏宏	順天堂大学	教授	②	①	赤血球12バッグ、血漿10バッグ
144		生命科学部・2年基礎生命科学実習Ⅱ・学生実習(医療計測)	佐藤 健吾	東京薬科大学生命科学部 心血管医科学研究室	助教	①	①	赤血球4バッグ、血漿4バッグ
145		NATコントロールサーベイ事業(血液対策課委託事業)	浜口 功	国立感染症研究所	厚生労働技官	①②	①	血漿4バッグ
146		熱帯熱マラリア原虫の細胞内物質輸送機構の解析	入子 英幸	神戸大学大学院 保健学研究科	准教授	②	①	赤血球7バッグ
147		新鮮血液のABO式血液型判定実習	上野 易弘	神戸大学大学院 医学研究科 地域社会医学健康科学講座法医学分野	教授	①	②	検査残余全血120本
148		新規血中癌マーカー開発試薬の特異性評価	吉村 徹	アボットジャパン株式会社 総合研究所	所長	②	②	検査残余血清200本
149		再生医療用途を目的とした人工酸素運搬体の開発	伊藤 大知	東京大学医学部	准教授	②	①	赤血球10バッグ
150		学生実習及び認定輸血検査技師試験研修	康 東天	九州大学病院 検査部	検査部長	①	①	PF1,489mL
151		血中微生物回収方法の検討に用いる試料としての献血血液の使用	福島 雅夫	ニッポーメディカル株式会社	メディカル研究開発センター長	②	②	全血2,414mL
152		獨協医科大学病院 平成31年度臨床研修医卒後研修輸血検査実習	三谷 絹子	獨協医科大学病院 輸血部	部長	①	①	赤血球10バッグ、血漿6バッグ
153		輸血検査実技講習会	名嘉真 園枝	三重県臨床検査技師会	臨床検査技師	①	①	赤血球2バッグ
154		地域医療機能推進機構病院(旧社会保険病院グループ)精度管理調査	小山 博史	地域医療機能推進機構病院 臨床検査技師会	副会長 精度管理委員長	①②	②	検査残余血清(分注)80,000mL
155		iPS細胞由来血小板の製剤化に向けた研究	赤松 健一	株式会社メガカリオン	取締役最高執行責任者	①②	①	血小板24バッグ

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
156		学生学内実習	森下 芳孝	鈴鹿医療科学大学保健衛生学部	教授	①	①	赤血球4バッグ、PF230mL
157		日本総合健診医学会精度管理調査	鈴木 隆史	一般社団法人日本総合健診医学会	理事、精度管理委員会委員長	①②	②	検査残余血清(分注)160L
158		体外診断用医薬品の品質管理	千々和 修平	バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社	薬事品質保証部長	①②	②	検査残余全血480本
159		輸血検査精度管理調査	日向 隆	株式会社カynos	学術部長	①②	①	赤血球2バッグ、血漿5バッグ、PF754mL
160		検査技師実習	廣田 雅子	東京工科大学	准教授	①	①	PF255mL
161		HTLV-1検査で陽性及び判定保留例となった妊婦、患者およびキャリアにおける抗体検査法の検討およびPCR法による感染の有無とウイルス量の定量に関する研究	浜口 功	国立感染症研究所 血液・安全性研究部	部長	①②	②	検査残余血清100本
162		既承認体外診断用医薬品における品質管理試験	殿岡 健太郎	株式会社シマ研究所 薬事部	部長	②	②	検査残余血清400本
163		熱帯熱マラリア原虫のin vitro培養系による病原機構の解明	中野 由美子	国立感染症研究所 寄生動物部	主任研究官	②	①	赤血球25バッグ、血漿6バッグ
164		新人臨床検査技師の技能研修	福田 智	独立行政法人国立病院機構中国四国グループ	臨床検査専門職	①	①	赤血球2バッグ、血漿2バッグ
165		輸血検査の実習	秋元 美幸	札幌医学技術福祉歯科専門学校	教員	①	①②	全血1,609mL、赤血球3バッグ、PF512mL
166		医学部における輸血検査実習	宮地 勇人	東海大学医学部	教授	①	①	赤血球5バッグ、血漿4バッグ
167		山梨県医師会精度管理事業	大澤 智彦	一般社団法人 山梨県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球2バッグ、PF594mL
168		Wakoコントロールサーベイ(輸血検査)	中井 剛史	富士フイルム和光純薬株式会社 臨床検査薬学術研究本部 東日本学術部	課長	②	①	赤血球2バッグ、血漿2バッグ、PF501mL
169		培養マラリア原虫を用いた簡便なマラリア原虫検出システム構築研究	片岡 正俊	国立研究開発法人産業技術総合研究所	研究グループ長	②	①	赤血球12バッグ、血漿5バッグ、PF1,605mL
170		ウイルス感染症に対するT細胞応答の解析	立川 愛	国立感染症研究所	室長	②	②	白血球除去フィルター17個
171		ヒト臍帯血血液幹細胞の増幅と血球系細胞への分化能に関する研究	内田 恵理子	国立医薬品食品衛生研究所 遺伝子医薬部	室長	②	①	全血1,192mL
172		B型肝炎ウイルス感染の病態別における宿主遺伝子の探索研究	溝上 雅史	国立国際医療研究センター研究所 ゲノム医学プロジェクト	プロジェクト長	②	②	検査残余全血10本、検査残余血清10本
173		パルスオキシメータ評価用血液循環シミュレータの開発	小林 直樹	日本光電工業(株) 荻野記念研究所	所長	②	②	全血36,189mL
174		輸血・移植検査学実習に使用	吉田 保子	つくば国際大学医療保健学部 臨床検査学科	講師	①	①	赤血球13バッグ、血漿9バッグ
175		POCT向け血糖およびHbA1c検査の精度管理用コントロール血液の開発	菱沼 義寛	病態解析研究所	研究員	②	②	全血799mL
176		血漿中プラスミノーゲンの内皮細胞における機能解析	浦野 哲盟	浜松医科大学	教授	②	①	PF2,106mL
177		赤血球期マラリアを用いた新規抗マラリア薬スクリーニング	平山 謙二	長崎大学熱帯医学研究所免疫遺伝学分野	教授	②	①	赤血球50バッグ、PF1,165mL
178		京都府臨床検査技師会 実技講習会	原 健介	一般社団法人京都府臨床検査技師会 輸血研究班	班長	①	①②	血漿2バッグ、検査残余全血4本
179		抗HTLV-1ヒト免疫グロブリンによるHTLV-1の革新的感染予防モデルの開発とその有効性の検討	水上 拓郎	国立感染症研究所	血液・安全性研究部 第四室長	②	①	PF20,405mL
180		iPS細胞技術を基盤とする血小板製剤の開発と臨床試験	江藤 浩之	京都市大学iPS細胞研究所	教授	①②	①	血漿80バッグ、血小板(分注)1097mL
181		輸血検査精度管理	内海 伴教	三重県臨床検査技師会	輸血検査精度管理担当	①	①	赤血球3バッグ、PF735mL
182		輸血検査実技講習会	佐藤 元恭	(公社)大分県臨床検査技師会	会長	①	①②	赤血球3バッグ、血漿1バッグ、PF245mL、セグメント120本
183		密度勾配連続細胞分離法による好塩基球の分離、濃縮	塩野 裕之	愛知医科大学 生理学	シニア講師	②	②	白血球除去フィルター4個
184		初級者対象輸血検査実技研修会	南部 重一	一般社団法人 富山県臨床検査技師会	臨床検査技師	①	①	赤血球3バッグ、血漿1バッグ、PF216mL
185		血液中一酸化炭素の検出実習	上野 易弘	神戸大学大学院医学研究科 地域社会医学健康科学講座法医学分野	教授	①②	②	全血333mL
186		感染症安全対策体制整備事業輸血の安全性確保を目的とした感染症安全対策体制構築のための研究	浜口 功	国立感染症研究所 血液・安全性研究部	部長	①②	①②	血漿5バッグ、検査残余血漿2,000本

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
187		犯罪鑑識を目的とした血液の利用について	増井 聡亮	滋賀県警察本部刑事部 科学捜査研究所	総括研究員	②	②	検査残余全血40本
188		抗原変異するウイルス感染症に有効なワクチン研究開発	高橋 宜聖	国立感染症研究所免疫部	部長	②	②	全血12,736mL
189		精度管理調査における献血血液の利用	渡邊 博昭	(一社)新潟県臨床検査技師会	会長	②	②	全血790mL
190		香川県立保健医療大学臨床検査学科学士の輸血検査学実習教育における使用	井伊 久美子	香川県立保健医療大学	学長	①	①	赤血球4バッグ、血漿4バッグ
191		ヒトパルボウイルスB19病原性発症の分子機構解明	森田 英嗣	弘前大学 農学生命科学部	准教授	②	①②	血漿7バッグ、PF3,890mL、検査残余血清10本
192		ヘパトカインを標的とした診断薬・治療薬の開発	篁 俊成	金沢大学大学院医学系研究科	教授	②	①	血漿20バッグ、PF6,765mL
193		輸血検査の理解と技術向上	徳住 美鈴	高松赤十字病院 検査部	輸血課長	①	①	赤血球1バッグ、血漿1バッグ
194		臨床免疫学実習	伊藤 洋志	長浜バイオ大学	准教授	①	①②	赤血球4バッグ、PF262mL、検査残余全血4本
195		臨床検査学科における免疫検査学(含む輸血検査学)、臨床化学等の検査学実習	脇 英彦	森ノ宮医療大学 保健医療学部臨床検査学科	学科長/教授	①	①②	赤血球10バッグ、血漿1バッグ、PF962mL、検査残余全血42本、検査残余血清200本
196		単球活性化試験法に用いる発熱性因子確認試験パイロジェンキットの検証に関する研究	菊池 裕	国立医薬品食品衛生研究所 衛生微生物部	室長	②	②	検査残余全血10本
197		学生に対する教育目的	藤原 実名美	東北大学病院 輸血・細胞治療部	副部長	①	②	検査残余血清14本
198		臨床検査技師養成大学における臨床免疫学実習 I	坊池 義浩	神戸学院大学栄養学部	講師	①	①②	赤血球1バッグ、血漿1バッグ、PF239mL、セグメント60本、検査残余全血18本
199		ヒト末梢血単球を用いた免疫応答反応のメカニズム解明	藤尾 慈	大阪大学薬学研究科	教授	②	②	全血10,533mL
200		肝臓疾患における線維化マーカーとしてのTGF-β活性化反応の血清中の定量的解析および肝臓組織分布の検討	小嶋 聡一	国立研究開発法人理化学研究所 生命医科学研究センター 肝がん予防研究ユニット	ユニットリーダー	②	②	検査残余血漿(分注)400mL
201		ヒト血液を使用した血液ポンプの溶血試験	小阪 亮	国立研究開発法人産業技術総合研究所	主任研究員	②	②	全血7,338mL
202		関節リウマチにおける骨破壊のメカニズムに関してヒト末梢血単球を使用した研究	村田 浩一	京都大学大学院医学研究科 リウマチ性疾患先進医療学講座	特定助教	②	②	白血球除去フィルター26個
203		(一社)神奈川県臨床検査技師会 精度改善事業	片川 一之	(一社)神奈川県臨床検査技師会	会長	①	①②	全血399mL、赤血球1バッグ
204		免疫検査学実習 輸血関連検査実習	山口 聡	東洋公衆衛生学院 臨床検査技術学科	学科長	①	①	赤血球5バッグ、PF257mL
205		学生に対する教育目的	政氏 伸夫	北海道大学大学院保健科学研究科	准教授	①	①②	赤血球5バッグ、血漿4バッグ、セグメント120本、検査残余全血25本
206		香川県輸血検査研究班輸血検査研修会 香川県輸血検査外部精度管理調査	荒井 健	香川県臨床検査技師会	会長 臨床検査技師	①	①	赤血球2バッグ、血漿2バッグ
207		脂肪組織由来間葉系幹細胞を使用した臍帯血移植時における新規生着促進療法の安全性と有効性に関する臨床研究	中山 亨之	愛知医科大学 中央臨床検査部	教授	②	①	血小板3バッグ
208		全衛連臨床検査精度管理調査	高木 康	公益社団法人 全国労働衛生団体連合会 臨床検査専門委員会	委員長	①	②	検査残余血清(分注)10,000mL
209		iPS細胞を用いた関節炎病態解明	吉富 啓之	京都大学ウイルス・再生医科学研究科	准教授	②	②	白血球除去フィルター2個
210		臨床検査技師養成教育における輸血検査実習	小野川 傑	埼玉医科大学保健医療学部臨床検査学科	教授	①	①	赤血球8バッグ、血漿8バッグ
211		鳥取県臨床検査精度管理調査	湯田 範規	一般社団法人鳥取県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球6バッグ、血漿2バッグ
212		HCV抗体検査試薬の改良	山本 能人	シスメックス株式会社 第一エンジニアリング本部 タンパク技術グループ	部長	①②	②	検査残余血清30本
213		HBs抗原定量試薬の改良	山本 能人	シスメックス株式会社 第一エンジニアリング本部 タンパク技術グループ	部長	①②	②	検査残余血清30本
214		新規HTLV-1抗体検出試薬の開発	山本 能人	シスメックス株式会社 第一エンジニアリング本部 タンパク技術グループ	部長	①②	①	血漿12バッグ、PF22,297mL
215		血液型検査試薬の検討	西村 一平	富士フイルム和光純薬株式会社 臨床検査薬学術研究本部 臨床検査薬研究所	首席研究員	①	①②	赤血球29バッグ、検査残余全血2310本
216		献血血液を用いた末梢血単核球増幅培養法の検討	田中 里佳	順天堂大学 形成外科	先任准教授	②	②	全血1,505mL
217		血液センター供給血を用いた輸血移植学実習	大星 航	国際医療福祉大学	講師	①	①	赤血球6バッグ、血漿5バッグ

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
218		地域における血液製剤の運搬・管理体制の構築	藤田 浩	東京都立墨東病院輸血科	部長	①	①	赤血球8バッグ、血漿4バッグ
220		輸血検査学実習	高橋 克典	群馬パース大学 保健科学部 検査技術学科	講師	①	①	赤血球2バッグ、PF236mL
221		HLA抗体検査試薬の精度管理	前川尻 真司	湧永製薬株式会社 試薬・診断 薬事業部	部長	②	②	検査残余血清1,000本
222		インドネシアの生物資源多様性を利用した抗マalaria新 規薬剤リード化合物の創成	北 潔	長崎大学 熱帯医学・グローバ ルヘルス研究科	教授	②	①	赤血球51バッグ
223		免疫療法における患者選択に関わるバイオマーカーの 開発とがん進展制御因子の機能解析に関する研究	片山 豊平	(公財)がん研究会 がん化学 療法センター 基礎研究部	部長	②	②	全血2,867mL
224		東京都登録衛生検査所の精度管理事業	田中 朝志	東京医科大学八王子医療セン ター	准教授	①	①	赤血球2バッグ、血漿1バッグ、PF239mL
225		癌の進展および治療抵抗性におけるヒト末梢血由来単 核球の機能解析	下田 将之	慶應義塾大学医学部病理学教 室	准教授	②	②	全血392mL
226	○	免疫記憶幹細胞の機能解明	鳥越 俊彦	札幌医科大学病理学第一講座	教授	②	②	検査残余血清(分注)100mL
227	○	輸血実技講習会	木村 泰治	一般社団法人岡山県臨床検査 技師会	会長	①	①②	赤血球4バッグ、血漿2バッグ、セグメント36 本
228	○	ぶどう膜炎をはじめとする眼炎症疾患の眼炎症発作の 病態を反映する生物指標の探索	園田 康平	九州大学大学院医学研究院	教授	②	②	白血球除去フィルター2個
229	○	携帯型近赤外分光装置の血液ファントム評価	渡辺 享志	浜松ホトニクス株式会社GSCC ビジネス・アクセラレータ近赤外 生体応用	部員	②	②	全血1,135mL
230	○	Medical gasによる血小板保存法の開発	矢倉 富子	愛知医科大学 医学部解剖学 講座	助教	①	①	PF455mL、血小板18バッグ
231	○	福井県臨床検査技師会輸血細胞治療部門 輸血検査 実技講習会	海老田 ゆみえ	福井県臨床検査技師会 輸血 細胞治療部門	臨床検査技師	①	①	赤血球4バッグ、PF255mL
232	○	ヘモグロビン試薬の調製	外山 幸司	一般社団法人日本血液製剤機 構 京都工場	品質管理部長	②	①	赤血球6バッグ
233	○	A型およびE型肝炎ウイルス特異的モノクローナル抗体 の作製	寺原 和孝	国立感染症研究所 免疫部	主任研究官	②	②	全血7,070mL
234	○	ヘリコバクター・ピロリ抗体検出用試薬の標準品・コン ロール製品の製造	佐藤 徹	栄研化学 那須工場	工場長	②	①	血漿50バッグ
235	○	皮膚疾患の臨床像に対するT細胞の関与の検討	渡辺 玲	筑波大学医学医療系皮膚科	講師	②	②	白血球除去フィルター40個
236	○	山形県臨床検査技師会 輸血・移植検査部門 実技研 修会	大森 洋子	山形県臨床検査技師会	輸血・移植部門長	①	①	赤血球2バッグ、血漿3バッグ
237	○	山形県臨床検査技師会 輸血・移植検査部門 精度管 理	大森 洋子	山形県臨床検査技師会	輸血・移植部門長	①	①	赤血球3バッグ、血漿1バッグ、PF379mL
241	○	有効なクリオプレシビートの院内調製と凍結乾燥化の 基礎検討	藤田 浩	東京都立墨東病院 輸血科	部長	①	①	血漿10バッグ
242	○	災害臨床における医学薬学共同による無人航空機 (UAV)の活用 ドローンによる血液製剤搬送	藤田 浩	東京都立墨東病院 輸血科	部長	①	①	赤血球8バッグ
243	○	悪性腫瘍に対する養子免疫T細胞療法の研究開発	籠谷 勇紀	東京大学医学部附属病院 血 液・腫瘍内科	講師	②	②	全血3,709mL
244	○	九州地区卒後教育セミナー	佐藤 元恭	日本臨床衛生検査技師会	九州支部長	①	①	赤血球3バッグ、血漿1バッグ、PF498mL
245	○	献血血液を用いた動脈血栓症診断を可能にする血液検 査法の研究	坂田 飛鳥	奈良県立医科大学血栓止血医 薬生物学	助教	②	①②	全血1,486mL、血小板6バッグ
246	○	微小振動環境下における赤血球の流動特性に関する 実験的研究	百武 徹	横浜国立大学	准教授	②	②	全血408mL、検査残余全血15本
247	○	プロテインS-K196E変異検出法の開発	高岡 秀成	シスメックス株式会社 第二エ ンジニアリング本部 ハードウェ ア技術グループ	部長	②	②	全血11,132mL
248	○	HBVマーカー検査のサーベイに関する研究	松岡 佐保子	国立感染症研究所	厚生労働技官	②	①	血漿17バッグ、血漿(分注)1,575mL
249	○	油症におけるダイオキシン類・PCBの人体暴露と評価手 法に関する研究 ③血液中ダイオキシン類・PCB濃度測定精度管理	堀 就英	福岡県保健環境研究所	生活化学課長	②	②	全血814mL
250	○	体外循環における回路内血液凝固の専属的検出システ ム構築	坂元 英雄	公立小松大学	講師	②	②	全血10,377mL
251	○	新生児に対する血液製剤の最適条件の検討	柳沢 龍	信州大学輸血部	准教授	①	①	血小板2バッグ
253	○	四国・徳臨技輸血検査研究班研修会(仮名)	中尾 隆之	一般社団法人 徳島県臨床検 査技師会	会長、臨床検査技師	①	①②	赤血球5バッグ、血漿8バッグ、セグメント80 本、検査残余全血6本

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
254	○	分子標的がん治療薬が引き起こす溶血性貧血の副作用の分子機構の解明およびリスク変動要因の探索	楠原 洋之	東京大学大学院薬学系研究科	教授	②	②	全血800mL、検査残余全血47本
255	○	平成31年度(第32回)和歌山県臨床検査技師会 臨床検査精度管理調査	竹中 正人	一般社団法人 和歌山県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球4バッグ、血漿2バッグ、PF243mL
256	○	血小板機能・寿命及び情報伝達経路における糖鎖、apoptosis関連タンパク、kinase、免疫受容体、接着分子の役割の解析	上妻 行則	学校法人銀杏学園熊本保健科学大学医学検査学科	准教授	①②	①	血小板1バッグ
257	○	日臨技近畿支部における輸血講習会の開催	坊池 義浩	日本臨床衛生検査技師会近畿支部	輸血細胞治療部門長	①	①②	赤血球1バッグ、PF467mL、検査残余全血22本
258	○	SMBG用コントロール物質の製造	田中 善孝	日水製薬株式会社 研究部	部長	②	①	赤血球24バッグ
259	○	HBs抗原陽性若年献血者におけるHBワクチンエスケープ変異株の検討	四柳 宏	東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野	教授	②	②	検査残余血漿42本
260	○	体外診断用医薬品の品質維持	飯塚 雅行	デンカ生研株式会社	化学発光試薬部長	②	②	検査残余血清(分注)1,500mL
261	○	希少糖をベースとした新規抗体マリア薬の開発	新井 明治	香川大学医学部	准教授	②	①	赤血球4バッグ、血漿1バッグ、PF1,347mL
262	○	ヒト血漿からのアディポネクチン精製とその炎症抑制機構の解明	中野 泰子	横浜薬科大学	教授	②	①②	PF2,772mL、検査残余血漿2,000本
263	○	ECMO症例におけるMicrovesiclesの臓器障害に対する役割の検討	若林 健二	東京医科歯科大学学生体集中管理学分野	助教	②	②	全血5,814mL
264	○	標準血清およびコントロール血清への使用	菅 亮彦	株式会社カイノス	研究所所長	②	①②	血漿20バッグ、検査残余血清(分注)7,500mL
265	○	日本人におけるT細胞受容体・B細胞受容体の多様性に関する研究	山下 和男	KOTAIバイオテクノロジー株式会社	代表取締役	②	②	白血球除去フィルター130個
266	○	免疫系転写因子群に着目した自己免疫疾患の病態解明と治療法開発	田村 智彦	横浜市立大学 大学院医学研究科 免疫学	主任教授	②	②	全血15,96mL
267	○	電磁波の輸血用血液製剤への応用研究	山口 敏康	東北大学大学院農学研究科	准教授	①	①	赤血球2バッグ
268	○	ヒト血液を用いたin vitro培養系のマリア原虫のオルガネラの解析	彦坂 健児	千葉大学大学院医学研究院 感染生体防御学	講師	②	①	赤血球22バッグ、血漿7バッグ
269	○	公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 ヘモグロビンA1c精度管理事業での使用	竹浦 久司	公益社団法人大阪府臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球1バッグ、血漿1バッグ
270	○	長野県における輸血検査教育	小嶋 俊介	信州大学医学部附属病院輸血部	主任臨床検査技師	①	①	赤血球2バッグ、血漿2バッグ

※1 献血血液の使用目的	① 血液製剤の有効性・安全性及び献血の安全性の向上を目的とした使用
	② 国の公衆衛生の向上を目的とした使用
※2 献血血液の区分	① 血液製剤の規格等に適合しない血液(検査により不適合となった血液、販売されず有効期限切れの血液製剤)
	② 血液製剤の製造に伴って副次的に得られる献血血液又は中間生成物(検査用検体の残余血液、保管年限(11年)を超えた調査用の血液、血液製剤の製造過程で得られる廃棄画分)
	③ 血液製剤の規格等に適合する献血血液等であって血液製剤の安定供給に支障の生じない量のもの

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

【日本赤十字社内への提供】

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
1		赤血球型遺伝子の多型解析と検査法の確立	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血53本
2		新生児血小板減少症と好中球減少症の調査	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血100本
3		ABO異型血小板輸血における不応原因の血小板貪食試験による評価	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血826本、血小板数測定用検体1,000本
4		HNA抗体陽性パネル収集(検査系の評価)	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①	血漿7バッグ
5		自動全血分離装置TACSIを用いた全血由来血小板製剤の調製の検討	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①	全血15バッグ
6		期限切れ血小板製剤、全血白血球除去フィルター由来血小板及び全血由来血小板からのplatelet lysate (PL) の調製と性状評価	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①②	血小板333バッグ、白血球除去フィルター4個
7		原料血液検査・その他一次検査用・二次検査用・精査用コントロール及びパネル等の製造	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①②	赤血球24バッグ、血漿142バッグ、検査残余全血1,339本
8		不規則抗体検査用赤血球試薬の製造	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①②	赤血球18バッグ、検査残余全血91本
9		モノクローナル抗体の作製に係る使用	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	白血球除去フィルター2個
10		検査に係る教育訓練としての使用	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血44本、血小板数測定用検体61本
11		ヒトパルボウイルスB19抗原検査システムの評価および陽性献血者検体の解析	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①	血漿259バッグ
12		E型肝炎ウイルス核酸増幅検査システムの評価および陽性献血者検体の解析	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①	血漿213バッグ
13		白血球数試験に係る検討	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①	全血4バッグ
14		品質確認試験	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球6バッグ、血漿104バッグ
15		XN-1000の検討	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①②	全血4バッグ、赤血球3バッグ、血小板7バッグ、検査残余全血21本、血小板数測定用検体33本
16		TACSI検討	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球3バッグ
17		赤血球液の長期保存に関する検討～照射赤血球液の赤血球変形能、赤血球由来microparticles, phosphatidylserineおよびCD47を指標とした評価～	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①	全血1バッグ、赤血球20バッグ
18		製造部門に係る技術的検討	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①②	全血20バッグ、赤血球17バッグ、血小板51バッグ、血小板数測定用検体213本
19		電磁波解凍を利用して調製した血液より析出したクリオプレシビート様物質の評価	中川 國利	東北ブロック血液センター	所長	①	①	血漿43バッグ
20		製造に係る教育訓練としての使用	中川 國利	東北ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球8バッグ
21		外観検査の実施方法の検討	中川 國利	東北ブロック血液センター	所長	①	①②	セグメント4本、その他(血小板製剤容量調整残余全血1)バッグ
22		新規抗体のスクリーニング開発	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①②	全血4バッグ、検査残余全血281本
23		IH-1000用抗体スクリーニング血球の製造	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球45バッグ
24		血液型検査用試薬製造委託原料としての使用	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①②	赤血球136バッグ、検査残余全血1,840本
25		原料血液検査・その他一次検査用・二次検査用・精査用コントロール及びパネル等の製造	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①②	赤血球145バッグ、血漿2バッグ、検査残余全血6,864本

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
26		検査に係る教育訓練としての使用	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	全血11バッグ
27		依頼検査用検体としての使用	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血4,843本
28		血液型・亜型・抗体同等の確認、検査用コントロール作製および検討	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①②	全血1バッグ、赤血球88バッグ、検査残余全血1,019本
29		調製試薬の検定	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血1,059本
30		まれ血・亜型・抗体同等確認・検討	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①②	全血6バッグ、赤血球56バッグ、血漿53バッグ、検査残余全血53本
31		モノクローナル抗体の検討	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球1バッグ
32		血清学的検査陽性かつ個別NAT陰性検体の解析	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①②	全血10バッグ、血漿152バッグ
33		HTLV-I検査試薬の開発にかかる検討	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	血漿21バッグ
34		品質情報に係る検証(無菌試験)	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球2バッグ、血漿2バッグ
35		血液型・不規則抗体検査の対照	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	血漿10バッグ
36		フローサイトメーター(Navios)の精度管理	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血3本、血算用検体2本
37		用手法血球試薬の製造	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①②	赤血球187バッグ
38		製造に係る教育訓練としての使用	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球17バッグ、血漿9バッグ
39		ABOまたはRh等精査における使用	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	全血2バッグ、赤血球26バッグ、血漿17バッグ
40		検査に係る機器・設備の導入等における適格性評価での使用	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血14本
41		頻回献血者の陽転事例にかかる血液製剤の解析	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	赤血球3バッグ、血漿3バッグ
42		1単位赤血球製剤の製造方法一部変更に係る検討	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	全血106バッグ、血漿31バッグ
43		血小板製剤に関する予備検討	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	赤血球6バッグ、血小板20バッグ
44		細菌スクリーニング導入に伴うPC有効期限延長に係る分析法バリデーション	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	血漿1バッグ、血小板4バッグ
45		細菌スクリーニング導入に伴うPC有効期限延長の予備検討	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	血漿22バッグ、血小板18バッグ
46		濃縮血漿の検討	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	血漿117バッグ
47		細菌スクリーニング導入に伴うPC有効期限延長に係る承認申請用試験	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	血漿5バッグ、血小板23バッグ
48		アロ抗体による血小板貪食試験	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	②	血小板数測定用検体774本
49		非溶血性輸血副作用検査の検討	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	②	検査残余血漿101本、HLA用検体28本
50		血液の安定供給に関する研究	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	赤血球1バッグ

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
51		BioBall試験	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	血小板10バッグ
52		PC中における細菌増殖動態の確認	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	全血4バッグ、血小板71バッグ
53		ウズツウイルス・ジカウイルスに対する感染中和能の評価	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	②	検査残余血清200本
54		HTLV-I検査試薬の開発にかかる検討	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	血漿9バッグ
55		無症候性菌血症バイオマーカーの探索	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	血小板2バッグ
56		細菌感染が疑われた血液製剤の汚染原因菌株の精査(血小板製剤中での増殖動態評価)	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	血小板3バッグ
57		細菌検出の検討	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	全血1バッグ、血小板4バッグ
58		細菌スクリーニング事前検討	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	血小板8バッグ
59		細菌増殖試験	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	血小板13バッグ
60		新型コロナウイルス等の病原体核酸抽出法の検討	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	赤血球1バッグ
61		PAS血小板から調整した洗浄血小板に関する研究	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	血小板2バッグ
62		血液製剤の有効性・安全性の向上を目的とした使用(再生医療研究)	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	血小板5バッグ
63		血小板製剤の不活化技術に関する研究	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①②	全血1バッグ、赤血球5バッグ、血漿1バッグ、血小板129バッグ、血小板数測定用検体126本
64		赤血球型遺伝子の多型解析と検査法の確立	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	②	検査残余全血15本
65		非溶血性副作用調査及び新規検査方法開発に関連した白血球抗体の検出	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	②	検査残余全血2,764本
66		赤血球前駆細胞株を用いた不規則抗体検査用血球試薬の開発に関する研究	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	②	赤血球4バッグ、検査残余全血4本
67		HBV感染初期の血液のバイオマーカーの検索等の研究	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	血漿1バッグ
68		血液型検査用試薬製造委託原料としての使用	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血1,800本
69		原料血液検査・その他一次検査用・二次検査用・精査用コントロール及びパネル等の製造	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	①②	血漿45バッグ、検査残余全血2,650本
70		検査に係る教育訓練としての使用	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	①②	血小板5バッグ、検査残余全血230本
71		MR研修会での使用	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	①②	血漿1バッグ、検査残余全血100本
72		PK血球試薬の本社依頼品質試験での使用	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血30,000本
73		検査に係る機器・設備の導入等における適格性評価での使用	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	①②	全血5バッグ、検査残余全血800本
74		製造に係る機器・設備の導入等における適格性評価での使用	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球20バッグ、血漿20バッグ
75		血液型検査三次検査での使用	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血2,500本

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
76		苦情調査(クロスマッチ)での使用	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血50本
77		血液型検査に使用する生理食塩水の受入試験での使用	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血200本
78		梅毒追加検査(RPR法)の陰性コントロール作成	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余血漿100本
79		ELISA法による抗HPA-15抗体検出系の開発	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血49本
80		副作用抗体関連検査の開発・検討	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血40本
81		Kg血液型抗原を担う分子とその責任遺伝子の全容解明	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血346本
82		痛風・高尿酸血症リスクに関連するABCG2遺伝子の解析:Jra抗原陰性者の解析による新規リスク変異の検討	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血134本
83		UV LEDを利用した血液製剤感染因子低減化の可能性	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	①②	血漿12バッグ、血小板47バッグ、血小板数測定用検体179本、その他(血小板製剤容量調整残余血)191バッグ
84		中空糸膜を用いたクロスフロー法による原料用血漿確保と置換血小板製剤の調製	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	①	血小板17バッグ
85		血液製剤の新規調製法の開発	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	①	血漿1バッグ、血小板9バッグ
86		造血細胞移植用にならない臍帯血の有効利用法の検討	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	白血球除去フィルター20個
87		プログラムフリーザーを用いた新しい赤血球凍結方法の検討	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球65バッグ
88		血液型検査用試薬製造委託原料としての使用	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球68バッグ
89		原料血液検査・その他一次検査用・二次検査用・精査用コントロール及びパネル等の製造	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	①②	赤血球172バッグ、血漿28バッグ、検査残余全血665本
90		モノクローナル抗体の作製に係る使用	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血70本、フィルター14個
91		副作用関連検査の開発・検討	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血325本
92		品質試験実施のため	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余血清1,280本
93		副作用検査の試料としての使用	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血300本
94		PC-HLA関連検査に使用する試料としての使用	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血26本
95		原料血液検査・その他一次検査用・二次検査用・精査用コントロール及びパネル等の製造	小林 正夫	中四国ブロック血液センター	所長	①	①②	赤血球36バッグ、血漿3バッグ、検査残余全血3,858本
96		検査に係る教育訓練としての使用	小林 正夫	中四国ブロック血液センター	所長	①	①②	赤血球2バッグ、血漿3バッグ、検査残余全血15本、セグメント20本
97		採血部門に係る教育訓練としての使用	小林 正夫	中四国ブロック血液センター	所長	①	②	血算用検体80本
98		JR遺伝子解析の試料としての使用	小林 正夫	中四国ブロック血液センター	所長	①	②	血算用検体32本
99		Kg遺伝子解析の試料としての使用	小林 正夫	中四国ブロック血液センター	所長	①	②	血算用検体97本
100		HIV陽性血の解析での使用	小林 正夫	中四国ブロック血液センター	所長	①	①	全血11バッグ、血漿508バッグ

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
101		HTLV-I検査試薬の開発にかかる検討	小林 正夫	中四国ブロック血液センター	所長	①	①	血漿10バッグ
102		NATスクリーニング判定不能血液の精査	小林 正夫	中四国ブロック血液センター	所長	①	①	血漿5バッグ
103		ドローンを利用した血液輸送における血液製剤の品質検査	小林 正夫	中四国ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球3バッグ
104		原料血液検査・その他一次検査用・二次検査用・精査用コントロール及びパネル等の製造	入田 和男	九州ブロック血液センター	所長	①	①②	赤血球72本、検査残余全血530本
105		HTLV-I検査試薬の開発にかかる検討	入田 和男	九州ブロック血液センター	所長	①	①②	赤血球1バッグ、血漿2.128バッグ、検査残余全血4390本、血算用検体3本、
106		白血球分画の有効利用を検討	入田 和男	九州ブロック血液センター	所長	①	①②	赤血球1バッグ、白血球除去フィルター858個、検査残余全血400本
107		検査試薬の受入試験及び品質試験における使用	入田 和男	九州ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血8本、決算用検体37本
108		網赤血球ヘモグロビン等量(RET-He)測定による献血者の鉄代謝状態の評価と鉄不足対策の検討	入田 和男	九州ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余血清31本
109		血小板製剤中のエンドトキシン検出法の検討のため	入田 和男	九州ブロック血液センター	所長	①	①②	血漿3バッグ、血小板13バッグ、血小板数測定用検体749本

※1 献血血液の使用目的	① 血液製剤の有効性・安全性及び献血の安全性の向上を目的とした使用
	② 国の公衆衛生の向上を目的とした使用
※2 献血血液の区分	① 血液製剤の規格等に適合しない血液(検査により不適合となった血液、販売されず有効期限切れの血液製剤)
	② 血液製剤の製造に伴って副次的に得られる献血血液又は中間生成物(検査用検体の残余血液、保管年限(11年)を超えた調査用の血液、血液製剤の製造過程で得られる廃棄画分)
	③ 血液製剤の規格等に適合する献血血液等であって血液製剤の安定供給に支障の生じない量のもの

献血液等の研究開発等への使用に関する報告

【KMバイオロジクス株式会社への申請】

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血液の使用目的 (※1)	献血液の区分 (※2)	献血液の種類、量など
1		α1-酸性糖タンパク質 (AGP) の生理学的機能の解明および体内動態特性の解析	丸山 徹	熊本大学大学院生命科学研究部 薬理学分野	教授	①	②	Fr-V 上清120L
2	○	ヒトグリオーマ初代培養株を用いた悪性グリオーマに対する局所治療法の開発	竹崎 達也	熊本大学医学部附属病院 脳神経外科	特任助教	②	①	ボルヒール組織接着用 60mL
3	○	アジュバント活性を有する血液成分の探索	副島 見事	KMバイオロジクス株式会社 研究開発推進部	研究開発推進部長	②	②	クリオプレシテート(0.5kg)とその上清(2L)、陰イオン交換溶出画分(5L)と非吸着画分(2L)、フラクションIの沈殿物(0.5kg)と上清(2L)、フラクションII-IIIの沈殿物(0.5kg)と上清(5L)、フラクションIIの沈殿物(0.5kg)と上清(2L)、フラクションIVの沈殿物(0.5kg)と上清(5L)、フラクションVの沈殿物(0.5kg)と上清(5L)

※1 献血液の使用目的	① 血液製剤の有効性・安全性及び献血液の安全性の向上を目的とした使用
	② 国の公衆衛生の向上を目的とした使用
※2 献血液の区分	① 血液製剤の規格等に適合しない血液(検査により不適合となった血液、販売されず有効期限切れの血液製剤)
	② 血液製剤の製造に伴って副次的に得られる献血液又は中間生成物(検査用検体の残余血液、保管年限(11年)を超えた調査用の血液、血液製剤の製造過程で得られる廃棄画分)
	③ 血液製剤の規格等に適合する献血液等であって血液製剤の安定供給に支障の生じない量のもの

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

【一般社団法人日本血液製剤機構への申請】

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
1	○	ウイルス除去フィルターの除去機構解明	加藤 千尋	旭化成メディカル株式会社 バイオプロセス事業部	課長	①	①	(有効期限切れ、外観検査不合格品など) ・献血ポリグロビンN(10%, 2.5g)(グリシン製剤)200本(有効期限切れ) ・献血ポリグロビンN(5%, 2.5g)(マルトース製剤)20本(有効期限切れ) ・献血ヴェノグロブリン-IH(5%, 2.5g)(ソルビトール製剤)77本(外観不良品) ・献血ヴェノグロブリン-IH((5%, 5.0g)(ソルビトール製剤)25本(外観不良品) ・計322本
2		ウイルス除去フィルターの除去機構解明	加藤 千尋	旭化成メディカル株式会社 バイオプロセス事業部	課長	①	①	(有効期限切れ、外観検査不合格品など) ・献血ポリグロビンN(5%, 2.5g)(マルトース製剤)468本(有効期限切れ) ・献血ヴェノグロブリン-IH(10%, 2.5g)(グリシン製剤)300本(外観不良品) ・計768本
3		ウイルス除去フィルターの除去機構解明	加藤 千尋	旭化成メディカル株式会社 バイオプロセス事業部	課長	①	①	(有効期限切れ、外観検査不合格品など) ・献血ヴェノグロブリン-IH(5%, 5.0g)(ソルビトール製剤)15本(外観不良品) ・献血ヴェノグロブリン-IH(5%, 2.5g)(ソルビトール製剤)15本(外観不良品) ・計30本
4		免疫介在性ニューロパシーにおける免疫グロブリンの作用に関する研究	飯島 正博	名古屋大大学院医学系研究科難治性神経疾患治療学寄付講座	寄附講座講師	①	①	(外観検査不合格品など) ・献血ヴェノグロブリン-IH(5%, 5g)5本
5		AT測定の標準化のために標準物質を決定するためのノイアートを対象物質として検討する	冢子 正裕	北海道医療大学医学部内科学分野		①	①	(外観検査不合格品など) ・ノイアート、500U、5本
6		SLEモデルマウスにおける抗リボソームP抗体による精神障害・腎障害の解明	張 高正	新潟大附属病院腎臓膠原病内科		①	①	(外観検査不合格品など) ・献血ヴェノグロブリン-IH(5%, 2.5g)3本
7		ロットを問わず血漿分画製剤による病態介入機序を解明する	飯島 正博	名古屋大先端医療開発部	特任准教授	①	①	(外観検査不合格品など) ・献血ヴェノグロブリン-IH(5%, 2.5g)4本
8		凝固線溶系分子制御による術後癒着防止	藤元 治朗	兵庫医科大肝胆膵外科	主任教授	①	①	(外観検査不合格品など) ・ノイアート、1500U、3本
9		横紋筋融解症により急性腎障害に対するアンチトロンビン製剤の治療効果の検討	岡田 英志	岐阜大医学部付属病院高次救命治療センター	准教授	①	①	(外観検査不合格品など) ・ノイアート、500U4本
10		臨床使用した免疫グロブリン製剤中の抗体価測定	森 あゆみ	トヨタ記念病院及び東北大学		①	①	(外観検査不合格品など) ・献血ヴェノグロブリン-IH(5%, 0.5g)1本 ・献血ヴェノグロブリン-IH(5%, 2.5g)2本 ・献血ヴェノグロブリン-IH(5%, 5g)1本
11		凝固線溶系分子制御による術後癒着防止	藤元 治朗	兵庫医科大肝胆膵外科	主任教授	①	①	(外観検査不合格品など) ・ノイアート、1500U、5本
12		AT測定の標準化のために標準物質を決定するためのノイアートを対象物質として検討する	森下 英理子	金沢大大学院医薬保険学総合研究科病態検査学講座	教授	①	①	(外観検査不合格品など) ・ノイアート、500U1本

※1 献血血液の使用目的	① 血液製剤の有効性・安全性及び献血の安全性の向上を目的とした使用
	② 国の公衆衛生の向上を目的とした使用
※2 献血血液の区分	① 血液製剤の規格等に適合しない血液(検査により不適合となった血液、販売されず有効期限切れの血液製剤)
	② 血液製剤の製造に伴って副次的に得られる献血血液又は中間生成物(検査用検体の残余血液、保管年限(11年)を超えた調査用の血液、血液製剤の製造過程で得られる廃棄画分)
	③ 血液製剤の規格等に適合する献血血液等であって血液製剤の安定供給に支障の生じない量のもの

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

【一般社団法人日本血液製剤機構内への提供】

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
1		JB自己使用 一般研究関連				①	①	(規格外・外観検査不合格品など) ・フィブリノゲン(1g)5本
2		JB自己使用 試験製造関連				①	①	(規格外・外観検査不合格品など) (クロスエイト関連) ・20%アルブミン50mL 2本 ・クロスエイトMC静注用2000単位 3本 (フィブリノゲン関連) ・フィブリノゲンHT 1g 4本 ・アルブミン25% 50mL 19本 (アルブミン関連) ・アルブミン25%50mL 153本 ・アルブミン20%50mL 45本 ・アルブミン5%250mL 50本 ・アルブミン25%50mL 54本 ・ウエノグロブリンIH 10%50mL 59本 (グロブリン製剤関連) ・ウエノグロブリンIH 2.5g/50mL 92本 ・ウエノグロブリンIH 5g/100mL 60本 ・ウエノグロブリンIH 10g/200mL 9本 ・ウエノグロブリンIH 2.5g/25mL 361本 ・ウエノグロブリンIH 5g/50mL 64本 ・ウエノグロブリンIH 10g/100mL 7本 ・ウエノグロブリンIH 20g/200mL 15本
3		JB自己使用 一般研究関連				①	②	(工程の廃棄画分・未利用画分) (アルブミン関連) ・廃棄画分A: 1,010mL ・廃棄画分B: 300mL ・廃棄画分C: 100mL ・廃棄画分D: 1,000mL
4		JB自己使用 一般研究関連				①	③	(医薬品以外の規格品: 工程中間体、小分けバイアル等) (エタノール分画関連) ・プール血漿37,408mL ・クリオプレシピテート 400g ・PTG濃縮液 6,860mL ・Eff. I 280mL ・Fr. I 33,360mL ・Fr. II+IIIベイスト 2,000mL ・カラム通過濾 Ⅱ+Ⅲ 930mL ・Fr. IV-1 9,700mL (アルブミン関連) ・アルブミンバルク液(加熱処理前液) 10mL ・プラノバ直前液 5,000mL (フィブリノゲン関連) ・最終バルク液 120mL
5		JB自己使用 試験製造関連				①	③	(医薬品以外の規格品: 工程中間体、小分けバイアル等) (クロスエイト関連) ・クリオプレシピテート 46kg ・クロスエイトMC 20192U ・25%アルブミン12.5g 37.1g ・クリオプレシピテート 400g ・クロスエイトMC 6000U ・25%アルブミン12.5g 6g (フィブリノゲン関連) ・Fr. I 16.68 kg (アルブミン関連) ・Fr. V 268kg (特殊免疫グロブリン関連) ・血漿 835L (グロブリン製剤関連) ・NFろ過後液 204 L
6		JB自己使用 治験薬製造関連				①	③	(医薬品以外の規格品: 小分けバイアル等) ・献血ウエノグロブリン-IH5%10g/200ml 161本 ・献血ウエノグロブリン-IH5%2.5g/50ml 280本 ・献血ウエノグロブリン-IH5%2.5g/50ml 760本 ・献血ウエノグロブリン-IH10%5g/50ml 301本

※1 献血血液の使用目的	① 血液製剤の有効性・安全性及び献血の安全性の向上を目的とした使用
	② 国の公衆衛生の向上を目的とした使用
※2 献血血液の区分	① 血液製剤の規格等に適合しない血液(検査により不適合となった血液、販売されず有効期限切れの血液製剤)
	② 血液製剤の製造に伴って副次的に得られる献血血液又は中間生成物(検査用検体の残余血液、保管年限(11年)を超えた調査用の血液、血液製剤の製造過程で得られる廃棄画分)
	③ 血液製剤の規格等に適合する献血血液等であって血液製剤の安定供給に支障の生じない量のもの